

for adult only.



SONIC WINTER presents,
AMABURI Fanbook #2

「 OURS. 」



SONIC WINTER presents,
AMABURI Fanbook #2

「 OURS. 」



※本書は成人向けの内容です。

Preface



■はじめましての方も御無沙汰してますの方もともにこんにちはは月島隆冬です。時間ないので飛ばして行きますが甘ブリ本の二冊目です。一応前回の YOURS の続きとなっていますが、あのあとちょっと思い付いた展開を盛り込んでみたので続編と言うよりは別ルートの後日談となっています。というよりははや独立した話なので前作持ってないという方も安心です。(「本当は怖い〇〇童話」的なのをやりたかったんですが…もうちょい時間あればなあ。いや時間はあったんだけど4月入ってから大ブレーキでorz異常気象大迷惑)てなわけでお楽しみいただけましたら幸いですm(_ _)m

Circle Information 改



YOURS.

「YOURS.」
SONIC WINTER presents.
AMABURI Fan-book

for adult only.



サークル「TRI-GO」は以下の三団体にて構成されています。

- 月島 改の担当サークル「SONIC WINTER」では主に恋愛物 ADV やアニメ作品の二次創作同人誌を発行しています。内容は基本的にギャグやシリアスの一般向け漫画が中心。今後は夏冬コミケとwebにて順次作品を発表して行く予定です。
- 半崎 蘭と月島改の合同サークル「SONIC WINTER 雪月環」では主にアニメ作品や美少女ゲームの成人向二次創作同人誌を発行しています。内容は比較的ソフトなH物が中心です。
- 半崎蘭の担当サークル「雪月環」では主にアニメ作品の二次創作同人誌を発行しています。内容はややハードなH物中心です。

※昨今の社会情勢を鑑み当面は一般向けと成人向けをより厳密に差別化させた上でリリースの予定です。

ああんだめえ
わたしもう
もう……!!

ふう……
良かったぜ
全くよお……

清纯派っぽい
顔してとんだ
ムツツリだな
お前

……
そいやあ……
そんな事……

そうかい



OK……
そんじゃあ
イクぜ……!!

まったくこの
ムチムチした体で
あのスケベ衣装は
反則だぜ

あんっ!
ダメです……!!

ああ……あ
ああ……!!

……
ミユース……
シルフィ……

……本当に
これでいいの……？
……わたしは……

せめてパークの
内部では……その
自重を……

まあ待てよ
ここでの行動にや
口を挟まないって
条件の筈だぜ？

！……
それは……

……このパークに
この男が訪れた
あの日から――

ふん……

別に聞いてやっても
いいが……それだと
こっちのモチベも
だだ下がりがりだぜ

ぶっちゃけ……
この先の仕事は
保障できねえな

……つ……
それは……

……つまりなんだ
風紀の乱れとでも
言いたいのか？

ふん……大方最近
御無沙汰だったから
構って欲しいんだろ
――素直になれよ

かっ

いいぜ……久々に
可愛がってやる
からよ――

……
平たく言えば
そういう事よ

……
……あの日から
私たちは最早……
彼に依存して
しまっている



契約の条件として彼に
提示されたこの身体を
処女を捧げ…

パークの経営再建と
引き換えに…秘書の
肩書きをもった愛人
性奴となった。



あの日…私は
この男に全てを
託し…そして
「秘書」となった



その事自体に後悔は
無い…姫殿下を
お救いする為ならば
…わたしは耐え忍ぶ

…彼が他の女性達に
手を出そうと…
それで彼女達が悦ぶ
以上…何もいえない



HOTEL
…あの日

エクセラ

…だけど
私は本当に…
あの時

そうね

正しい選択を…
したのだろうか

そうかも…
知れないわね

へへ…確か中で
出してもいいって
話だったよな？
んじゃ

遠慮なく膣内むかに
ぶちまけさせて
貰うぜ！

ち……
膣内射精……
される……っ

こ……！
この男の精液が
私の中に……！

そう……あの
処女を喪った日から……

ああ……だめ……
出さないで……

っ……うらあああ！
たっぷり出すぜえ
……！

うおっ凄え！
止まんねえぜ
……！

届いてしまっ……
精子が……に……
……妊娠……する……！

……ッふう……っ
へへっ
……最高だ

良かったぜ……
最高の報酬だ

あんたの処女と
身体はよ……

……あ……

ふう〜…

あの日わたしは
初めて…
…男に抱かれた

…汚れた…
汚された…

へへ…
へへ…
さあ…

これでめでたく
女になった訳だが…
どうよ？感想は

へへ…こっちはもう
最高だったぜ…
これだけいい女の
最初の男なんてよ！

…こんな下衆に
純潔を…
…わたしは…

へへ…
男冥利に
尽きるぜ

…契約の条件として
求められたこの身を
…処女ごとこの男に
差し出した…

苦痛と屈辱感：
恥辱と悔しさが
心中で渦を巻く

しかし：
へへへー

これで姫殿下が
救われるのなら
安い物……
そう考えていた

でも全ては私の
失策が招いた事
……そしてこれが
わたしの任務……

初めてとはとても
信じられない様な
イイ反応だったぜ

……さて

……問題は……その後だ

っつー事でえ
へへ……それじゃ
早速

第二ラウンド
開始と
行きますか！



うー…まさか
うそ…まさか
そんな…!!

ま…待って!
お願い…少し
時間を

痛い…
痛くて…

い…今射精した
ばかりなのに…
あんなに大きく
……………!

まあそりや
そうだろうなあ
だがよ…へへ

安心していいぜ
すぐに気持ちよく
させてやるからよ
——こいつでな

……………!



な…何を…
今…何を…

…ツ…何を
飲ませたの
……………?

へ…
まあすぐに
解るって



え……………?
……………!

な…
何…?



……

か——身体が……熱……

こんな効力の薬なんて……！まさか……

何を……何を飲ませたの……？

なんだよ判らねえのか？仕方ねえなあ

あ……

こいつはなドーリの実だよ……ほれ

苦痛の軽減と催淫の効果で処女向けの定番おつと……

痛みもだんだん弾いて……か……痒——ツ……

あ……！

苦痛が——搔痒感に……そ……

そいつを……ちよこつとだ弄くってるんだ

な……何故……そんな物を……

……この男が……向こうの事を……

……ツ——！あ……あなた……一体……っ……！

あ……な

何者……っ……

へへ……まあ誰だっがいいじゃねえか

そんな事より愉しもうぜ！

むん

駄目
か…身体が…
言う事を…!

や…やめて…!
そんなの…っ
違…!

へへ…こっちの
方はもう素直に
なってるぜ?

あ

やらしい糸
引いてやがる

さっき初体験
済ませたばっか
だったのになあ…
やらしい女だぜ

こんな…く…
薬の力なんかは
…負けたら…

駄目…お…
堕ちては…

違わねえって
乳首もココも
言ってるぜ?

…なあ

早いとこ素直に
なっちまえって…
速攻でキモチよく
してやるからよ!

へへ…
入れて欲しくて
仕方ないんだよな
イースズルハは

わ…わたし…
わたし…は…

…っ

今…なんて…

…イースブルハ

ああ…
そつだ…わたしは…
姫殿下の近衛…

ラティファ様を
お救いするのが使命…
その為にはわたしは…

わたしは…
この男に…身体を…
それが我が…務め…

千斗いすずは…
もう…この男の
物…

もう身体を…
純潔さえ捧げて
しまった…

…わ…私…

…今更拒んだ
ところで…
取り返しは…

…い…

挿れて…
…下さい…
…その…

…貴方の物を…
わたしの…あ…
…秘所に…っ

……
敗けた

かあっ

私は…

オーケー
よく言った
それじゃ…

へへ…
いい尻だぜ

そのでっかい
ケツをこっちに
向けな

あ…!

わたしは…
卑しい女だ

むっちりとして
それでいて張りが
ある…形も手触りも
極上の逸品だな

これで…
いい…?

さて…
行くぜ

ッ

…

硬い…熱い
ああ…
入ってる

ッ

ッ

…ッ

わたしの…なかに…ッ!

へへ…
いい感触だぜ
たまんねえ!

ああ…

ッ

またひとつ
なっちまった
なあ…俺達

ッ

いい感触だぜ
あんたの尻
それによ…へへ
最高の気分だ！

お尻をこの男に
向けて…まるで
犬みたいに…
こんな…

屈辱的な
格好で…っ

…わたし…
この男と…
一つに…

こんな極上JKを
こんなふうにする
なんてなあ…
男冥利に尽きるって
もんだぜ…！

あ…！

大きいので
擦られて…

へへ…なあ
そっちも気持ち
いいだろ？


な…中が…
…気持ち…

御所望のモンで
膣内をグリグリ
掻き回されてよ

へ…強がるなよ
息が段々と
艶っぽくなつて
来てやがるぜ？

そんな
事…っ

白状しちまいな
痒いのを擦られて
気持ちいいって！



そう…さつきは
苦痛でよく分から
なかつた感触が…
はつきり分かる

わたしの膣内で
この男の大きな
物が…蠢くのが

力強く遅しく…
わたしの膣内を
開拓して行く—
わたしの体が…

ああ—…
これが…これが

…わたしが…
この男に開拓
されてゆく…

あっ…せ…
セックス…っ

ああ…
下品な事を…

ッ…!!
それをわたしの
口から…!!

あ

あ

あ

そうかい
…んじゃい
聞くがよ

つまりそれは
どういう行為
なんだ…?

……?

つまりよ
俺たちは
今…

子作りに精を
出してるって
訳なんだな

そんなの…
せ…生殖行為に
決まって…

へへ…いい
実にいいねえ
生殖行為!

ち…
違っ…!

かあ

その事実を
認識させる
ために…!

ちがうっ!
そんな事絶対…
わ…わたしは…
わたしは…
そんな…!!

この体勢だと
余計その言葉が
実感できるぜ!

へ…種か中で
してもいいって
だったよな？
んじや

この男の精液が
私の中に…!!

っ…っらあああ!
たっぷり出せえ!

さつきも私…
膣内で射精を
…!!

そう…これは
紛れもない…
生殖行為…!!

ああ…だめ…
出さないで…

ムッ

せ…精液が…!!
この男の精子が…
わたしの中に…!!

ああ…

はっ

こ…このまま
抱かれ続けたら
その先に待つて
いるのは…!!

いいや…!!

いっ

嫌…!!
それだけは…!!
わたし…!!

あ…

や…やめて…
離して—
お願いよ…!

いまさら
暴れるな
って…!

そうやって
嫌がられる
とよ…へへ

こんだけ感じ
てるって事は
つまりお前の
身体が…

ほ…本当に
取り返しが…
…!

だめっ…こ…
子供なんて…
絶対—…!

逆に種付け欲を
掻き立てられち
まうんだよなあ
—それによ

そうされんの
喜んでるって
証拠だぜ?

ち…ちがう…
そんな事絶対に
有り得ない…

まあ
確かに

いかにも種付け
して貰いたそうな
身体だよなあ—
この乳と尻はよ

この肉付き…
この腰周り…
たまんねえぜ

い…いや…
言わないで…

—なのに
どうして…
一体どうして
わたしの体は…

嫌あつ…
…

おっと…

てな事言ったら
一気に—へへ
またガツツリと
中に出してやる

や—
やめて!
膣内は…

…わたしは…
…こんなにも…
…受け入れて…
…しまうの…?

お…お願い
許して…!

無理だって
っ…そら!
出すぜ—

へへ…
もう

!あ…
ああ…!

駄目っ—
ダメえええ…っ

ああ…
っ…

ふうっ…
最高だぜ…
まったくよ

よお…遅かった
じゃねえか

そう…あの日から私は…
この男に逆らえない…

彼が何者か…疑念を
抱きながら…

…判ったわ…
上手くは
出来ないけど

それがわたしの使命で…
…望み…なのだから

だから…私自身は構わない
だけ…本当に私は…

ふる

わたしの選択は
パークの…

いいぜ…その
身体と表情で
充分満足だ

まったく待ち
くたびれたぜ！
ペナルティだ

むん

へへ…ストリップ
ショーでもやって
貰うとするか！

それでも…彼に抱かれ
続ける…

姫殿下の為の…正しい
行いだったのだろうか

END

「OURS」 May,2.2015

Presented By: SONIC WINTER
Produced By: 月島 隆冬
Printing Office: ねこのしっぽ 様

mail: takka@comet.ocn.ne.jp
URL: http://www9.ocn.ne.jp/~sonic-w/